

東映アニメーション株式会社

2018年3月期 第3四半期決算 (2017/4~2017/12)



『HUGっと!プリキュア』
2018年2月4日(日)より
ABC・テレビ朝日系列にて放送開始!

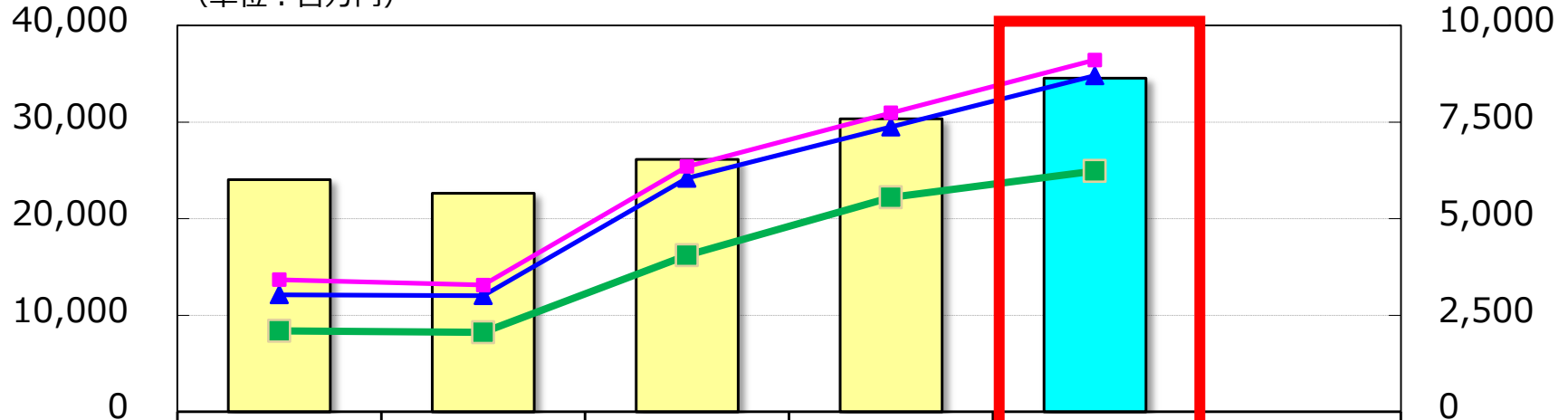
2018年3月期第3四半期決算(連結)

- 売上高及び各利益は、第3四半期としての過去最高額を記録
- 国内外で、『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』を中心としたゲーム化権が好調
- 中国向け大口映像配信権の販売が好調に推移

売上高

(単位：百万円)

利益



	2014/03 3Q	2015/03 3Q	2016/03 3Q	2017/03 3Q	2018/03 3Q (当期)	前期比 増減率
売上高	24,067	22,639	26,144	30,339	34,557	13.9%
売上原価	17,283	15,413	16,128	18,920	21,375	13.0%
販管費	3,753	4,217	3,965	4,040	4,477	10.8%
▲ 営業利益	3,030	3,008	6,050	7,377	8,704	18.0%
■ 経常利益	3,421	3,280	6,354	7,739	9,108	17.7%
■ 当期純利益	2,097	2,057	4,054	5,551	6,233	12.3%

2018年3月期第3四半期 セグメント別内訳(連結)

(百万円)		2017年3月期 3Q	2018年3月期 3Q	増減率
映像製作・販売事業	売上高	12,010	12,425	3.5%
	セグメント利益	3,022	2,142	△29.1%
版權事業	売上高	12,778	17,775	39.1%
	セグメント利益	5,919	8,377	41.5%
商品販売事業	売上高	4,669	3,762	△19.4%
	セグメント利益	188	160	△14.8%
その他事業	売上高	1,071	738	△31.0%
	セグメント利益	44	△82	△284.7%
連結	売上高	30,339	34,557	13.9%
	営業利益	7,377	8,704	18.0%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2018年3月期第3四半期 セグメント別分析①(映像製作・販売)

(百万円)	17/03 3Q	18/03 3Q
売上全体	30,339	34,557
営業利益	7,377	8,704
映像製作・販売事業	12,010	12,425
劇場アニメ	1,429	832
テレビアニメ	2,467	2,359
コンテンツ	550	567
海外映像	5,881	6,971
その他	1,680	1,694
著作権事業	12,778	17,775
国内著作権	7,693	10,126
海外著作権	5,084	7,649
商品販売事業	4,669	3,762
その他事業	1,071	738

映像製作・販売事業 (▲ 前期比3.5%増)

- 「劇場アニメ」は、前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットに相当するものがなかったことから、大幅な減収
- 「テレビアニメ」は、放映本数は増えたものの、その他の映像製作やゲーム用音声製作が軟調に稼動したことから、減収
- 「コンテンツ」は、映像パッケージの販売が全体的に軟調に推移したものの、「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上があったことから、若干の増収
- 「海外映像」は、中国向け大口映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収
- 「その他」は、アプリゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシースピリッツ』が好調に稼動したものの、前年同期にあった国内での大口映像配信権契約の反動減から、ほぼ横ばい

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

2018年3月期第3四半期 セグメント別分析②(版權・商品・その他)

(百万円)	17/03 3Q	18/03 3Q
売上全体	30,339	34,557
営業利益	7,377	8,704
映像製作・販売事業	12,010	12,425
劇場アニメ	1,429	832
テレビアニメ	2,467	2,359
コンテンツ	550	567
海外映像	5,881	6,971
その他	1,680	1,694
版權事業	12,778	17,775
国内版權	7,693	10,126
海外版權	5,084	7,649
商品販売事業	4,669	3,762
その他事業	1,071	738

版權事業 (↑ 前期比39.1%増)

- ・「国内版權」は、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が前期より更に好調に稼動したことから、大幅な増収
- ・「海外版權」は、全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』に加え、北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移したことから、大幅な増収

商品販売事業 (↓ 前期比19.4%減)

- ・前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーンに相当するものがなく、大幅な減収

その他事業 (↓ 前期比31.0%減)

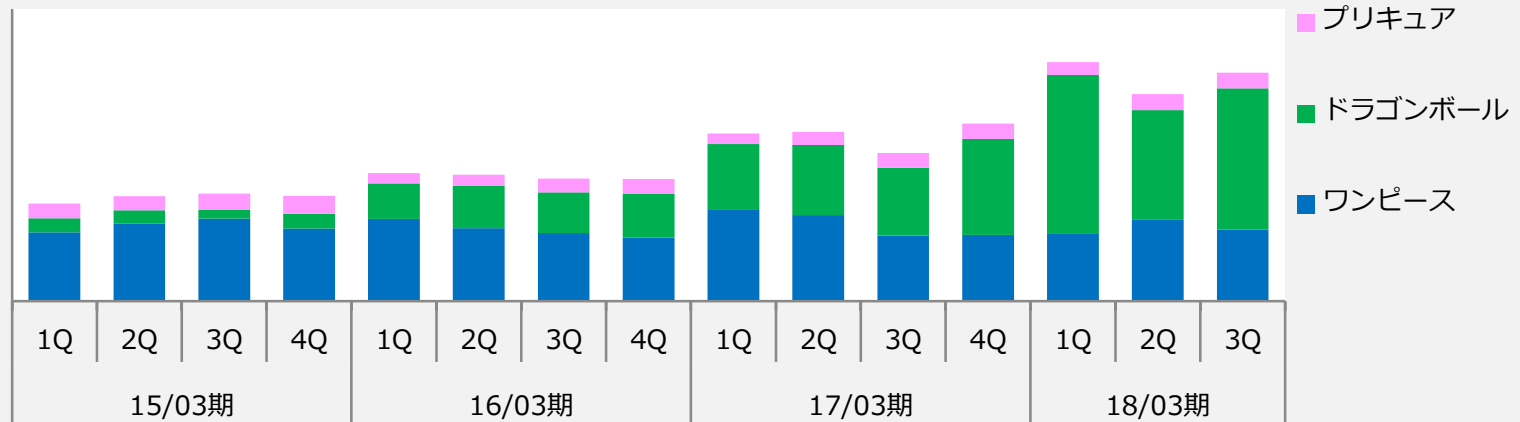
- ・前年同期にあった「聖闘士星矢」の催事関連に相当するものがなかったことに加え、「ワンピース」が前年同期に比べ軟調に推移したことから、大幅な減収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

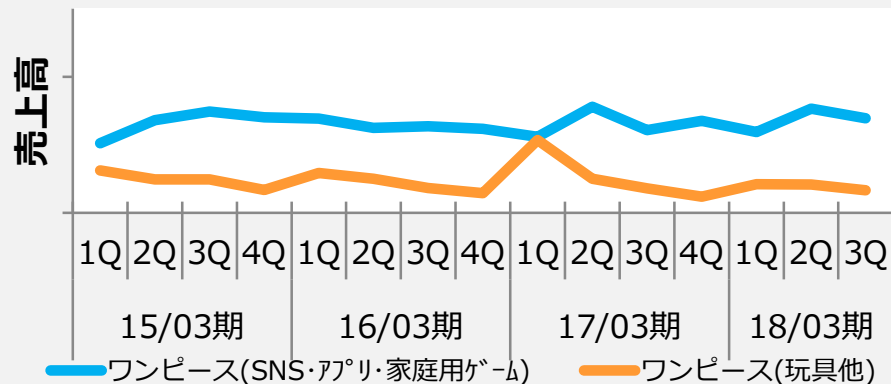
主要作品の国内版權事業の状況

- アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』は前期より更に好調に稼動
- 2大タイトルの比重拡大、アプリゲーム化権への依存が拡大

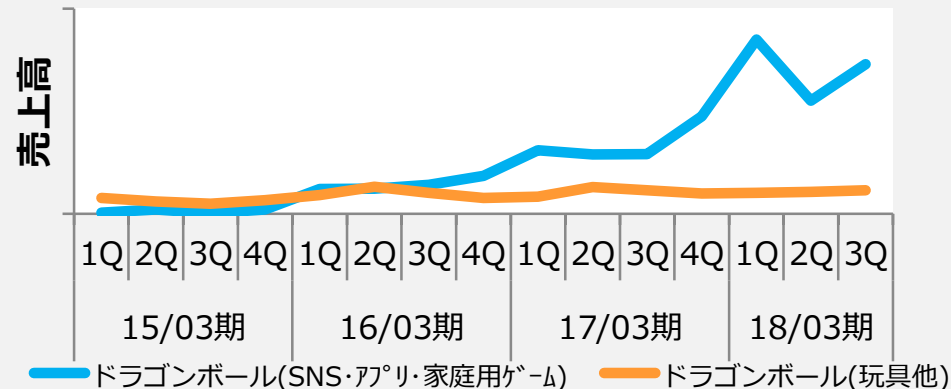
主要3作品の国内版權売上高の推移



ワンピース 国内版權売上高の推移



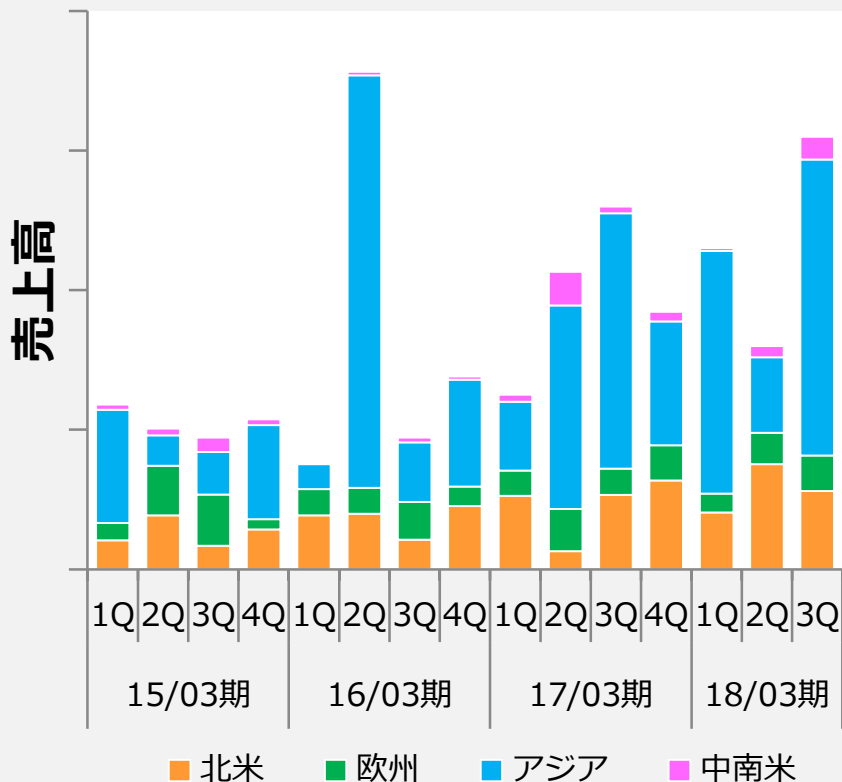
ドラゴンボール国内版權売上高の推移



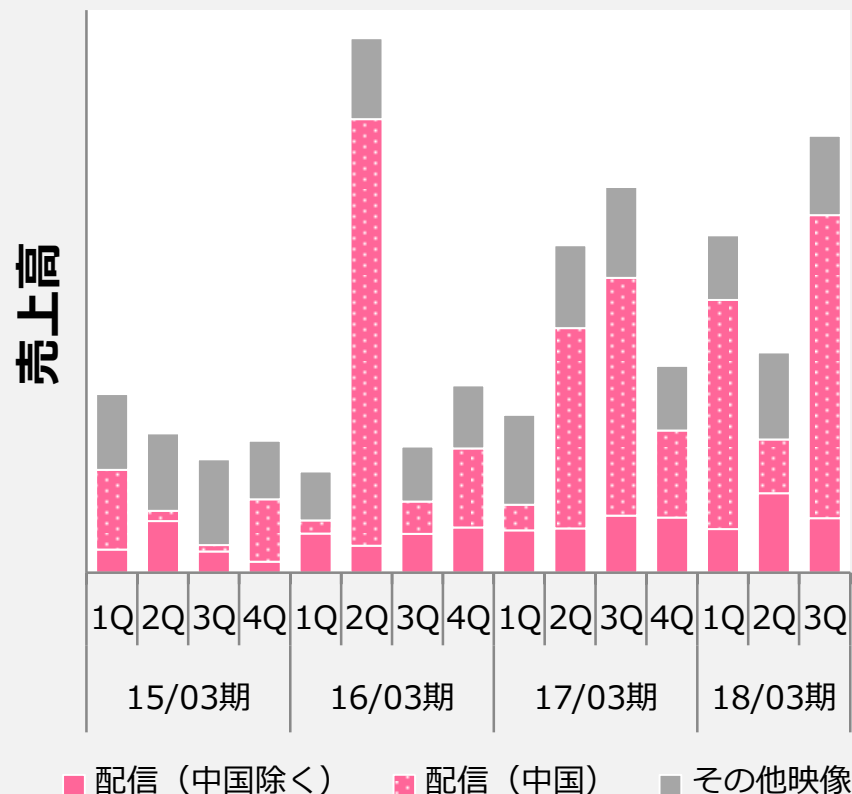
海外映像事業の状況

- 中国向け大口映像配信権の販売が好調
- 北米向けに「ドラゴンボール」シリーズ等の映像配信権販売も好調に稼働

海外映像 売上高の推移



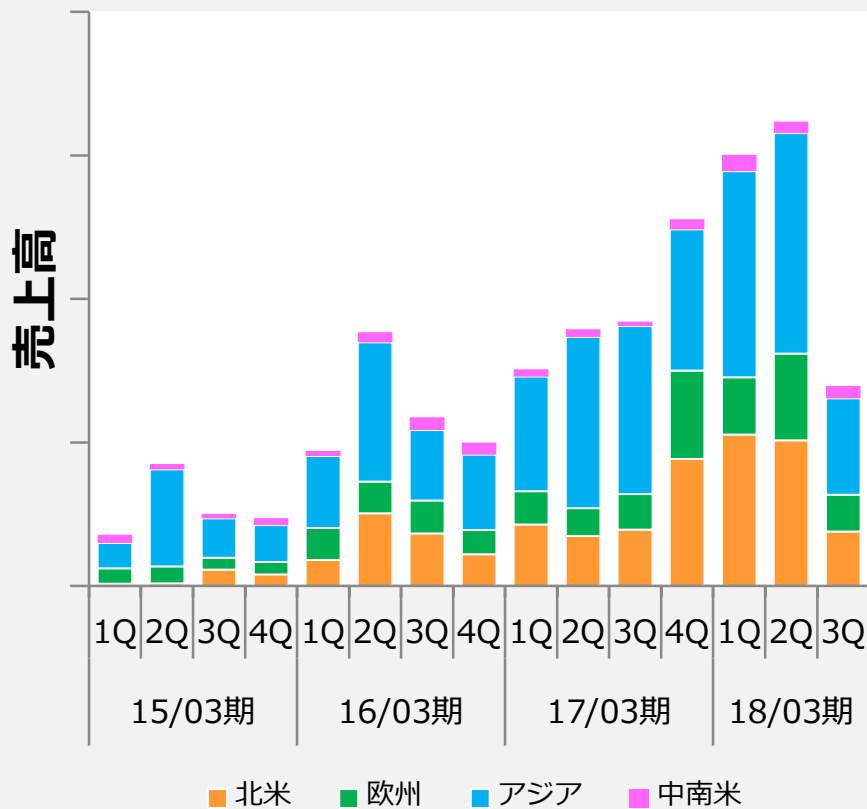
事業内訳



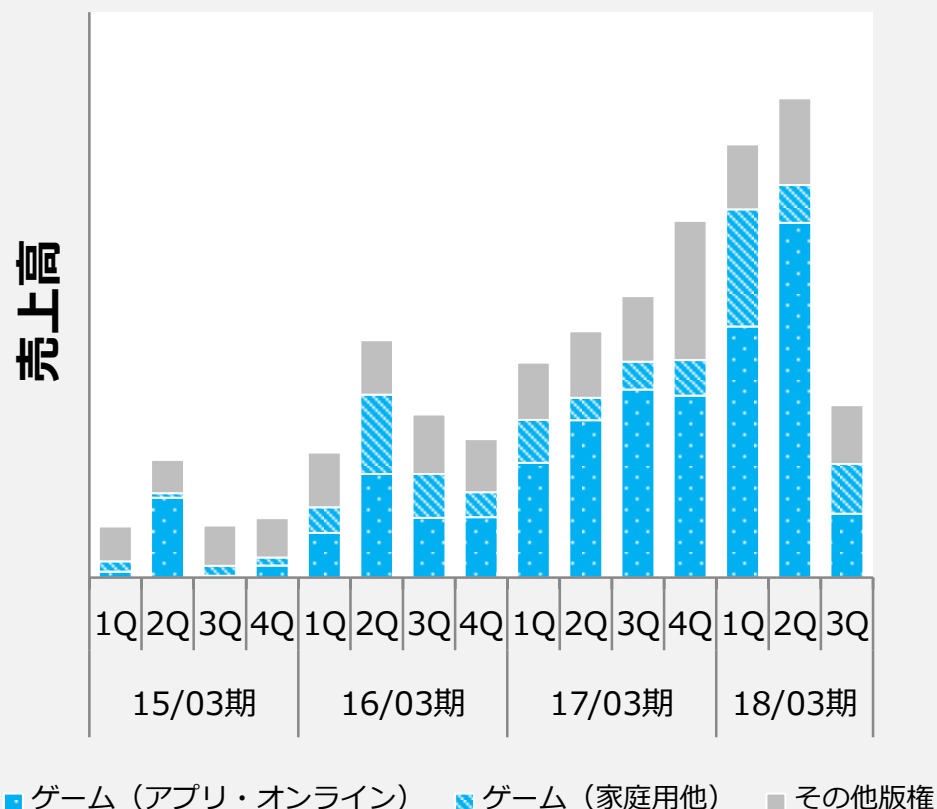
海外版権事業の状況

- 全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が好調
- 上期に既存アプリゲームのMG更新契約が集中し、3Qで反動減が出たものの、累計では前年同期より好調

海外版権 売上高の推移



事業内訳



2018年3月期第3四半期 決算総括

(百万円)	17/03 3Q実績	18/03 3Q実績	増減	増減率
売上高	30,339	34,557	4,218	13.9%
売上原価	18,920	21,375	2,455	13.0%
売上総利益	11,418	13,181	1,762	15.4%
販管費	4,040	4,477	436	10.8%
営業利益	7,377	8,704	1,326	18.0%
営業外収益	372	459	87	23.5%
営業外費用	10	55	44	424.9%
経常利益	7,739	9,108	1,368	17.7%
特別損益	204	△123	△328	-
税引前当期純利益	7,943	8,984	1,040	13.1%
法人税等	2,545	2,686	140	5.5%
法人税等調整額	△153	65	218	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	5,551	6,233	682	12.3%

売上高

- 増収幅が大きい事業
 - ①海外版權[2,564] ⇒ ②国内版權[2,433]⇒ ③海外映像[1,089]
- 減収幅が大きい事業
 - ①商品販売[△907] ⇒ ②劇場アニメ[△597]⇒ ③イベント[△332]

原価・売上総利益

- 売上総利益率：38.1%(前期:37.6%)
映像製作・販売事業全体の利益率は悪化したものの、収益性が高い海外事業・版權事業の売上比率が大幅に上昇したため、改善

営業外損益

- 営業外収益 [+87]
 - ①為替差益[+87] (前期:26 当期:114)
 - ②受取配当金[+47] (前期:175 当期:222)
- 営業外費用 [+44]
 - 雑支出[+45] (前期:9 当期:55)

特別損益

- 新宿オフィス売却による減損[△123]
(前期:投資有価証券売却益260)

2018年3月期業績予想の修正および進捗状況について

(百万円)	17/3 3Q	18/3 3Q	前回予想 (17/7/28開示)	今回予想 (18/1/26開示)	増減額	増減率	進捗率
売上高	30,339	34,557	38,000	46,000	8,000	21.1%	75.1%
営業利益	7,377	8,704	9,100	11,600	2,500	27.5%	75.0%
経常利益	7,739	9,108	9,400	12,000	2,600	27.7%	75.9%
当期純利益	5,551	6,233	6,300	8,300	2,000	31.7%	75.1%
映像製作・販売事業	12,010	12,425					
劇場アニメ	1,429	832					
テレビアニメ	2,467	2,359					
コンテンツ	550	567					
海外映像	5,881	6,971					
その他	1,680	1,694					
著作権事業	12,778	17,775					
国内著作権	7,693	10,126					
海外著作権	5,084	7,649					
商品販売事業	4,669	3,762					
その他事業	1,071	738					

【業績予想の上方修正要因】

国内外で『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』をはじめとする各種アプリゲームが前回発表時の見通しを上回って好調に推移したため

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

展開スケジュール

展開スケジュール

映像製作・販売事業 著作権事業

商品販売事業 その他事業

18/03期 3Q	例年「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」公開 [10/31]
	フランス「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」公開 [11/22]
	中国向けアプリゲーム「聖闘士星矢 小宇宙幻想伝」リリース [2017年12月]
	中国向けPCゲーム「航海王 ONLINE」リリース [12/29]
18/03期 4Q	国内「劇場版 マジンガーZ / INFINITY」公開 [1/13]
	全世界向け家庭用ゲーム「DRAGON BALL FighterZ」発売予定 [2/1]
	「HUGっと！プリキュア」放映開始 [2/4]
	「美少女戦士セーラームーン・ザ・ミラクル 4-D」(USJ) 開幕 [3/16~6/24]
	「映画プリキュアスーパースターズ！」公開予定 [3/17]
19/03期 1Q以降	「ゲゲゲの鬼太郎」放映開始 [4/1]
	「ONE PIECE LIVE STAGE」中国初専用劇場オープン(上海) [4/28]
	「デジモンアドベンチャー-tri.」第6章 劇場上映予定 [5/5]
	アプリゲーム「ONE PIECE BOUNTY RUSH」リリース予定 [2018年春]
	PCブラウザゲーム「ドラゴンボールZ XKEEPERZ」リリース予定 [2018年春]
	HTML向けゲーム「ドラゴンボールZ ブッチギリマッチ」リリース予定 [2018年春]
	アプリゲーム「デジモンリアライズ」リリース予定 [2018年]
	中国向けアプリゲーム「龙珠Z 覚醒」リリース予定 [2018年]
	PS4「ONE PIECE WORLD SEEKER」発売予定 [2018年]
	中国向けアプリゲーム「航海王 燃焼意思」追加配信予定 [2018年]
中国向けアプリゲーム「龙珠 最強の戦い」リリース予定 [2018年]	

トピック

ドラゴンボール展開

- アプリゲーム「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」
 - 全世界2億ダウンロード突破
 - 16の国と地域でApp Storeランキング 1位獲得
 - 2018年1月から3周年キャンペーン実施
- 全世界向け家庭用ゲーム「DRAGON BALL FighterZ」
2018年2月1日リリース予定

ワンピース展開

- 「ONE PIECE LIVE STAGE / 航海王大舞台秀」
中国初となる「ワンピース」のリアルライブステージが
2018年4月28日に上海にオープン

新作展開

- TVアニメ「HUGっと！プリキュア」
シリーズ15作目が2018年2月4日放送開始
2018年はプリキュア15周年として展開
- 「ゲゲゲの鬼太郎」アニメ放送開始50周年
2018年4月1日よりテレビアニメ放送開始
- 「デジモンアドベンチャー-tri.」第6章
2018年5月5日劇場上映開始
- 「おしりたんてい」
アニメ化プロジェクト始動
2018年5月よりNHK Eテレにて放送開始
- 「ドラゴンボール」劇場版20作記念企画始動
2018年12月全国ロードショー決定
- 「爆釣バーハンター」プロジェクト始動
アニメ製作決定



配当について

期末配当

2017年3月期

1株あたり 普通配当30円 + **特別配当100円**

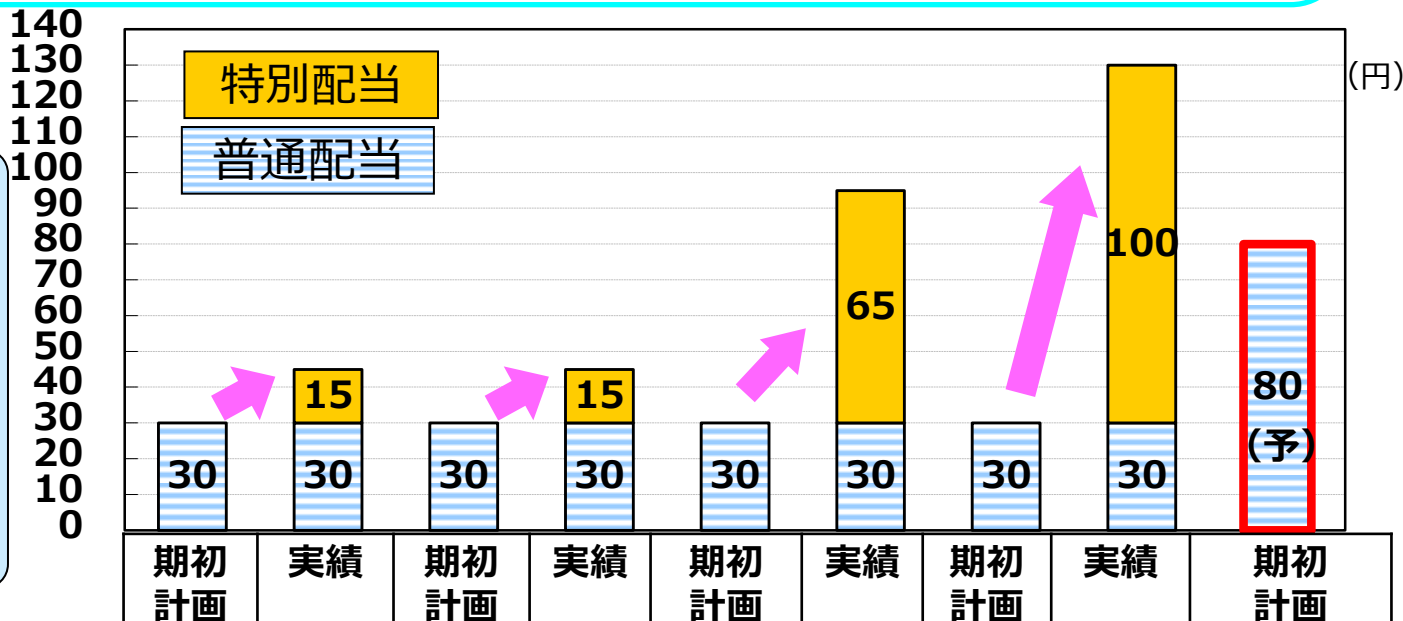
2018年3月期

1株あたり 普通配当80円(期初予想)

※ 30年3月期の期末配当金につきましては、期初段階の数値を記載しております。
 予想の修正については、連結業績等を勘案したうえで、基本方針に基づき別途検討する予定です。

基本方針

継続的且つ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績などを総合的に勘案して決定しています。
 配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。



年度	14/03	15/03	16/03	17/03	18/03
1株当たり配当金	45円	45円	95円	130円	80円(予)
配当性向	26.3%	25.2%	25.2%	24.6%	25%(予)

株式分割について

当社は平成30年4月1日を効力発生日として、株式の分割を行います。

目的 株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図るため

普通株式 1株⇒3株

基準日

平成30年3月31日(土)

※実質的には平成30年3月30日(金)

効力発生日

平成30年4月1日(日)

【分割により増加する株式数】

株式分割前の発行済株式総数	14,000,000株
今回の分割により増加する株式数	28,000,000株
株式分割後の発行済株式総数	42,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	168,000,000株

【配当について】

平成30年3月31日を基準日とする平成30年3月期の期末配当金は、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

【株主優待制度の変更について】

■株主優待制度の内容の変更について

今回の株式分割に伴い、株主優待制度を一部変更いたします。詳細は平成30年1月26日に開示しました「株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご参照ください。<http://corp.toei-anim.co.jp/ir/news/>

■変更時期

平成31年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様への株主優待より変更を実施いたします。

ご参考①(放映中作品)



日曜朝8:30～ ABC・テレビ朝日系列
2018年2月4日より放映開始



日曜朝9:00～ フジテレビほか



日曜朝9:30～ フジテレビほか

ご参考②(2018年3月期予定作品)

『映画プリキュア スーパースターズ!』
2018年3月17日(土) 公開予定



ご参考③(2018年3月期以降予定作品)

『ゲゲゲの鬼太郎』

日曜朝9:00~フジテレビほか
2018年4月1日より放送開始



『デジモンアドベンチャーtri.
第6章「ぼくらの未来」』

2018年5月5日(土)上映予定



『ドラゴンボール』劇場版20作記念企画始動

2018年12月公開予定



『おしりたんてい』

2018年5月よりNHK Eテレにて
アニメ放送開始予定

『爆釣バーハンター』
アニメ製作決定

